

ビジネス情報科・ビジネス科 2年A・B・C・D組（全コース）

教科名	国語	科目名	現代の国語（2単位）
使用教科書	新編 現代の国語（東京書籍）	副教材等	新編現代の国語学習課題ノート（東京書籍） 常用漢字ダブルクリア（尚文出版） 必携国語総合セミナー（浜島書店） 新総合 図説国語（東京書籍）

1 科目のねらい（目標）

<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

2 科目・授業の内容と進め方

<p>現代文では、相手に確実に伝わるように、そして正確に読めるように、読みをしっかりと行います。また、語句の説明や漢字学習を行い、その後に内容読解を行います。内容読解では、登場人物の心情や行為の背景、また作者・著者の考えや作品に託した意図をとらえ、意見の発表もします。</p> <p>表現では、相手に確実に意志が伝わるように表現するため、演習を多く取り入れて、自分の作品を発表します。</p>
--

3 学習の方法

<ul style="list-style-type: none"> 辞書を使っての意味調べや漢字練習については、家庭で学習をしましょう。 作品や教師の質問、他の生徒の意見に対しては、自分の考えをしっかりと持ち、相手に自分の考えを正確に伝える訓練をしましょう。 ノートは、黒板に書いてあることを写すだけでなく、自分の考えや大切だと思われることをしっかりと記録し、自分だけの参考書になるようにしてください。 日頃から、読書（絵・写真のない文章）に親しみましょう。
--

4 課題・補習について

<ul style="list-style-type: none"> 定期的にノート・ワークシート・ワーク等の点検を行います。 努力を怠っている生徒に対しては、補充授業、追試験、課題などを課します。

5 観点別学習状況の評価ポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 常用漢字の読みに慣れ、文や文章の中で使用している。 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 話し言葉と書き言葉の特徴や役割を踏まえ、正確さや分かりやすさ等に配慮した表現や言葉遣いを理解し使用している。 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報など、情報どうしの関係について理解している。また、情報の妥当性や信頼性の吟味や引用の仕方について理解を深め、適切に使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「話すこと」においては、自分の考えが的確に伝わるよう、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 「聞くこと」においては、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広めたり深めたりしている。 「書くこと」においては、読み手の理解を得ることと自分の考えや事柄を的確に伝えることを意識し、論理の展開、情報の分量や重要度、根拠の示し方や説明の仕方などを考え、表現の仕方を工夫している。 「読むこと」においては、文章の種類を踏まえて内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えについて、表現に工夫してスピーチや発表を行っている。また、他者の考えを聞いて、同意したり質問したり、論拠を示して反論したりして、多様な考えに触れようとしている。 単元ごとの要約や感想、まとめを書き、作品を粘り強く理解するとともに、丁寧に振り返ろうとしている。

ビジネス情報科・ビジネス科 2年A・B・C・D組 (全コース)

教科名	国語	科目名	現代の国語 (2単位)
-----	----	-----	-------------

6 年間の学習計画

月	単元名	教材	学習の内容(ねらい)	評価方法 (課題等)
4	1 自己を みつめる	・こそめスープ ・ルリボシカミキリの青 話す・聞く 気になるニュース について話そう	・筆者独自の考え方や体験について書かれた文章を 読み、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせ たり、自分に当てはめて考えたりする。 ・情報を整理し、内容や構成に注意して話す。	・授業態度 (発言・予習等) ・課題 (ワーク・ノート ・ワーク等)
5	2 他者に出会う	・未来をつくる想像力 ・水の東西 書く 集めた情報の内容を検 討して意見文を書こう	・意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつか む。 ・比較を通じて特質についての理解を深める。 ・情報を集めて検討し構成を工夫して意見文を書 く。	前期中間考査
6	3 言葉と生活 1	話す・聞く 分かりやすい説明 をしよう	・目的や相手に合った分かりやすい説明をする。	・授業態度 (発言・予習等) ・課題 (ワーク・ノート ・ワーク等)
7	4 視野を広げる	・スキマが育む都市の緑と 生命のつながり ・無彩の色 話す・聞く 情報を整理しなが ら話し合おう	・文章に提示された新しい視点について理解する。 ・具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観 と主張をつかむ。 ・話し合いの進め方を工夫し、考えを深める。	
8 9	5 社会と関わる	・鍋洗いの日々 ・森で染める人 ・真夏のひしこ鍋 書く 憧れの職業について調 べ、整理してまとめよう	・仕事に対する思いを読み取り、労働に対する理解 を深め、働くということについて考える。 ・調べたことを整理して、考えたことを分かりやす くまとめる。	前期期末考査
10	6 言葉と生活 2	話す・聞く 発想を広げる方法 を使って話し合おう	・発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。	・授業態度 (発言・予習等) ・課題 (ワーク・ノート ・ワーク等)
11	7 世界と つながる	・美しさの発見 ・りんごのほっぺ 書く 読み手のアドバイス を生かして紹介文を書こう	・文章の展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解 する。 ・出来事の順序に着目しながら情報を整理し、筆者 の思いを読み取る。	後期中間考査
12	8 未来に 目を向ける	・不思議な拍手 ・真の自立とは 話す・聞く 資料を活用して発 表しよう	・文章を読み、人間への認識を深める。 ・自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。	・授業態度 (発言・予習等) ・課題 (ワーク・ノート ・ワーク等)
				学年末考査